

海外大生注目！ 「グローバルキーワード」

【花王グローバル展開】

花王グループでは、約 5 年前から「日本を含めたアジア一体運営」を推進しています。これは、“仕事の標準化” “仕事の連携” そして“花王ウェイの共有” の 3 つを柱として、花王グループの最大の特長・強みである「事業と機能のマトリックス運営」の力を広くアジア各国各地域においても実践することをめざした活動でした。

さいわい、この「日本を含めたアジア一体運営」の活動は、各国の現地社員をはじめ花王グループ社員の熱意あふれる活動によって着実に進展し、売上げ・利益の面においても毎年 2 ケタに近い伸長を示している状況です。現在アジア各国・各地域においては、従来から発売している「アタック」「ロリエ」「ビオレ」などに加え、「アジエンス」「エッセンシャル」「キュレル」などのブランドを「汎アジアブランド」として発売しており、この「汎アジアブランド」の育成・強化に経営資源を戦略的・集中的に投入し、さらなる成長をめざしています。

【海外進出】

私たち花王の世界展開は、現在 29 の国・地域に拠点を置き、単に販売をするだけに留まらず、研究や生産も現地で行うなど、各国各拠点に根を下ろした事業を行っています。

花王の海外への事業展開は、1964 年タイ、台湾から始まりました。その後、アジアでは香港、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナムへと進出を拡大しています。

現在は、特に中国市場での展開に力を入れており、1993 年に「上海花王」を設立し、家庭用品のシャンプー、洗顔料、生理用品や衣料用コンパクト洗剤などを現地で製造し、主要都市のスーパーマーケットを中心に積極的な販売活動を行ってきました。その結果、洗顔料の「ビオレ」、生理用品の「ロリエ」などが、中国の多くの消費者に広く愛用していただいています。

ヨーロッパでは、1986 年ドイツに高級ヘアケア製品の製造販売を行う「グール・イケバナ」社を設立。翌 87 年には、同じくドイツにおいて、美容サロン向けヘアケア製品を製造販売する「花王プロフェッショナル・サロン・サービシーズ (旧 ゴールドウエル)」社を買収し、ヨーロッパでの事業を着実に広げてきました。

アメリカでは、1988 年に 100 年以上の歴史があるスキンケアメーカーの「アンドリュー・ジャーゲンズ」社を買収。続いて 98 年には、アメリカの「ボシュロム」社からプレミアムスキンケアブランドである「キュレル」ブランドを、また 2000 年には、「チャットテム」社から制汗デオドラントのブランドである「ban」を買収しています。現在アメリカでは「花王ブランド (旧 アンドリュー・ジャーゲンズ)」社が、「ジャーゲンズ」「ビオレ」「キュレル」「ban」などのブランドを展開しています。

さらに 2002 年春には、ヨーロッパの「花王プロフェッショナル・サロン・サービシーズ (旧 ゴールドウエル)」社を通じて、米国のヘアサロン向けヘアケアメーカー「KMS リサーチ」社を買収。同年の秋には、「花王ブランド (旧 アンドリュー・ジャーゲンズ)」社を通してプレミアムヘアケアメーカー「ジョン・フリーダ」社を買収し、アメリカでのヘアケア事業の強化を進めてきました。今後も、アメリカ市場における、スキンケアとヘアケアのリーディングカンパニーをめざして取り組んでまいります。

【重点戦略】

今後、私たち花王のグローバル戦略で注力するのは、「中国を中心としたアジア展開の強化」。そして、「欧米のビューティケア事業の強化」です。

アジアにおいては、もっとも規模が大きく、また成長の可能性が高い「中国市場」を最重要視するのはもちろんですが、私たちは、AFTA（アセアン自由貿易地域）構想で注目を集める「アセアン地域」についても力を注ぎ、それぞれの市場のニーズに合わせた製品を投入。着実に、事業を拡大しています。

一方、欧米においては、2001年に「ゴールドウェル」社から発売したヘアカラーの「エルーメン」は、花王の美髪技術を応用したヘアサロン向けヘアカラー剤で、ヨーロッパや北米を中心に、世界40カ国に展開されています。また、花王ブランド社から発売した、スキンケア製品の「ナチュラルリースムース」は、発売当時、そのユニークな商品特長が注目を集めました。今後ますます、花王の技術と、各関係会社とのコラボレーションを押し進め、グローバル市場で通用する画期的な商品をどんどん開発してまいります。

【世界トップ3の能力】

花王は、さまざまな産業界に向けて、工業用製品をお届けしているケミカル製品事業のメーカーでもあります。その主な製品は、天然油脂を原料からつくる「油脂製品」をはじめ、それを原料とする、油脂誘導体や界面活性剤、高機能ポリマー、香料など、多岐にわたる工業用製品を、研究・開発部門と事業部門が一体となって、開発しています。

油脂製品の主力である「高級アルコール」はフィリピンとマレーシアに生産の拠点を置き、設備の増強を積極的に進めたことで、2002年には世界のトップ3に入るまでの供給能力を実現しました。

さらに、「トナー・トナーバインダー」の分野では、日本、アメリカ、スペインの世界3極体制が整い、世界の複写機やプリンターからの印刷物の3枚に1枚には、花王のトナー、トナーバインダーが使われているという計算になります。

ケミカル事業では今後も、世界市場を見据えたグローバルな展開を強化していきます。

【ダイバーシティ】

花王が求めているのは、強い挑戦意欲と高い専門性や柔軟性、そして、豊かな国際感覚を備えた人材です。

こうした意欲と能力を備えた優れた人材を、国籍や性別に関係なく採用していきたいと考えています。

グローバル一体運営を推進するため、研修プログラムを世界統一し、価値観・目標・働き方の共通化を図るなど、社員一人ひとりが持つさまざまな能力が十分に発揮できるよう、それぞれに合った部署へ配属し、積極的に評価し、活用しながら、さらに能力を伸ばしていけるよう、人材育成にも努めています。

花王株式会社【採用情報】 http://www.kao.com/jp/corp_recruit/recruit.html